

第9回 Web グランプリ Web 人 受賞者発表

342社が加盟（2021年10月末現在）する公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：中村 俊之）は、第9回 Web グランプリ（<https://award.dmi.jaa.or.jp/>）の Web 人部門、「Web 人賞」の受賞者を審査の上、決定いたしました。

「Web 人賞」は、有識者で構成される Web 人賞選考委員会による審査会、及びデジタルマーケティング研究機構 幹事会で審議の結果、次の方々を受賞されました。

（氏名 50 音順敬称略、次ページ以降に詳細）

青木 秀仁 氏 (Shamrock Records 株式会社)
足立 義則 氏 (日本放送協会)
鶴岡 裕太 氏 (BASE 株式会社)
西館 亜希子 氏 (popIn 株式会社)
米良 はるか 氏 (READYFOR 株式会社)
山田 進太郎 氏 (山田進太郎 D&I 財団)

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れた Web サイトや Web プロモーションにとどまらず、広くデジタルを活用したマーケティング、コミュニケーション等の原動力となった人物にフォーカスをあて、その方の功績を讃えて表彰しています。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。

<https://award.dmi.jaa.or.jp/winner/gp08w>

◇この件に関するお問合せ

公益社団法人 日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構

Web グランプリ事務局 受付時間:10:00~17:00<平日のみ>

TEL:03-3543-5855 e-mail:award-info@dmj.jaa.or.jp

お問合せフォーム <https://award.dmi.jaa.or.jp/inquiries>

第9回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者一覧

【Web 人賞】(50 音順)

あおき ひでひと

青木 秀仁氏 (Shamrock Records 株式会社)

青木氏は Shamrock Records として 2013 年より「コミュニケーション支援・会話の見える化アプリ」UD トークを開発し、さまざまな領域に展開されてきました。UD トークは、発話をリアルタイムで文字起こしし、デジタルテキスト化することが可能であり、聴覚障害者のみならず、さまざまな人と人の境界を乗り越えるために用いられています。

特に昨今のコロナ禍におけるオンラインコミュニケーションが重要となる状況においては、各種オンラインツールと連携し、オンライン配信イベントなどでのリアルタイムキャプションや翻訳などで幅広い人々とのコミュニケーションに貢献されています。これらの取り組みが評価され、今回の受賞となりました。



あだち よしのり

足立 義則氏 (日本放送協会)

足立氏は SNS から事件事故の一報やフェイク情報、トレンドなどをキャッチする SoLT (Social Listening Team) の立ち上げや、NHK のソーシャルメディアでの活動を通じて、一方通行ではない双方向のコミュニケーションモデルの構築に挑戦し、デジタル時代ならではの傾聴を活用した報道とコミュニケーションのありかたを示されたことが評価され、今回の受賞となりました。



つるおか ゆうた

鶴岡 裕太氏 (BASE 株式会社)

鶴岡氏は、ネットショップ作成サービス「BASE」において、COVID-19 の影響を受けた飲食店や小売店を早くから支援していました。2020 年 2 月にはいち早くアパレルブランドの代替生産先の紹介を行い、その後もネットショップ開設や集客、資金調達や入金迅速化などの支援を打ち出していました。

「BASE」は、初めての人にも優しいシステムを基本無料で提供することで、IT やネットに詳しくない人でもネットショップを始める敷居を下げました。

人びとが外出しづらい状況でも EC によって事業を継続できるよう助けた点、他の EC プラットフォームに先がけて支援を開始した点、そして日本各地で DX 推進の端緒となった点が評価され、今回の受賞となりました。



にしだて あきこ
西館 亜希子氏 (popIn 株式会社)

西館氏は、popIn 株式会社インターネット上の誇大広告や差別的広告を、配信停止すると宣言する取り組みをリードし、日本でも社会問題化し始めていたネット広告の問題に一石を投げられました。特にネイティブアドの領域において停滞しているようにも見られていたネット広告の健全化の議論の再活性化がされたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



めら
米良 はるか氏 (READYFOR 株式会社)

「誰もがやりたいことを実現できる世の中をつくる」をビジョンに掲げ、クラウドファンディングサービスを10年にわたり展開し、既存概念では解決できないさまざまな社会課題へ取り組まれています。
「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金（以下、コロナ基金）」や「令和3年8月豪雨災害 緊急災害支援基金」などの取り組み、また研究や医療の分野、アート・文化・芸術領域、ソーシャルセクターへの資金調達支援といった経済合理性だけでは資金や支援が届きにくい領域への支援など、デジタルを通じた社会活動が多くの人々の行動に繋がり、広げていったことが高く評価され、今回の受賞となりました。



やまだ しんたろう
山田 進太郎氏 (山田進太郎 D&I 財団)

株式会社メルカリ代表取締役 CEO である山田氏は、一般財団法人を設立し、ジェンダー・人種・年齢・宗教などに関わらず、誰もが自身の能力を最大限に発揮できる社会の実現を目指しておられます。その第一弾として、理系職種が男性に偏り、国内の女性エンジニア比率は20%に留まるなどジェンダーバランスが崩れているという課題に注目し「高校入学時点で理系を目指す女性」100名に対して奨学金を支給するプログラムを開始されました。
業界のみならず社会全体のジェンダーギャップの解消を実現するための希望ある取り組みが評価され、今回の受賞となりました。



Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、過去 6 回開催し日本の企業ウェブサイト発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013 年を第 1 回として開催いたしました。今年が第 9 回となります。



インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、Web 社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

【Web 人賞選考委員会 選考委員】

今田 素子 2013 年 Web 人賞受賞

（株式会社インフォバングループ代表取締役 CEO）

徳力 基彦 2007 年 Web 人賞受賞

（ブロガー／note プロデューサー）

長谷川 敦士 2012 年 Web 人賞受賞

（株式会社コンセント 代表取締役社長）

平田 大治 2004 年 Web 人賞受賞

（シックス・アパート株式会社 取締役 CTO）

安田 英久 2010 年 Web 人賞受賞

（株式会社インプレス Web 担当者 Forum・ネットショップ担当者フォーラム編集統括）

【Web グランプリ プロジェクト運営メンバー】

◇Web グランプリプロジェクトリーダー

新井 隆之（岩崎電気株式会社、デジタルマーケティング研究機構 幹事）

◇Web グランプリプロジェクトプロジェクトメンバー

西田 健（キャノンマーケティングジャパン株式会社、デジタルマーケティング研究機構 副代表幹事）

デジタルマーケティング研究機構について

日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構 (Digital Marketing Institute) は、1999年4月1日、社団法人日本広告主協会(現:日本アドバイザーズ協会)デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました(発足時名称:Web 広告研究会)。業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体(広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など)が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を10の委員会と4つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

<委員会>

- ・コーポレートブランド委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・データ活用委員会
- ・イノベーション委員会
- ・B2B マーケティング委員会
- ・サイトマネジメント委員会
- ・コミュニケーションプランニング委員会
- ・カスタマーエクスペリエンス委員会
- ・モバイル委員会
- ・West デジタルマーケティング委員会

<プロジェクト>

- ・人材育成プロジェクト
- ・Web グランプリプロジェクト
- ・ネット広告健全化推進プロジェクト
- ・U35 プロジェクト

- 会員社 342社 (2021年10月31日現在)
- 代表幹事 中村 俊之 (株式会社ポーラ)
- 所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-7 ヒューリック銀座3丁目ビル8階
- Web <https://dmi.jaa.or.jp/>